

令和元年度第2回理事会議事録

日時：令和元年7月13日（土曜日）

場所：岩手医科大学附属病院循環器医療センター3階研修室

出席者：行森良一、菊池英岳、畠山秀樹、川村将史、宮本祥一、下川波歩
熊谷正邦、高橋庸一郎、高橋一博、中沢和浩、成田和也、小田原聖、
舘野幸枝、小野寺奈緒、小原丈裕、小野寺絵美

はじめに（行森）

今年度は地区役員・部門長等の入れ替わりがありました。来年の北日本学会は岩手が担当となります。秋口から学会の視察等で忙しくなると思いますが、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

I 報告事項（行森）

1) 令和1年度 日臨技定時総会について

日臨技の宮島会長が財務大臣の政務官に就任したこともあり、これからは横地副会長が代行ということで日臨技の運営等を行っていく。

今回の総会で承認された内容としては日臨技入会資格の変更があり、今年度からは日臨技に入会する際は都道府県の技師会にも入会するようになった。理事の定款の変更があり、理事の定数を3名以上56名以内とすることとなった。

2) 北日本支部について

来週北日本支部の幹事会が行われるため、北日本支部の研修会については暫定的に決まっている。秋田県で行われる微生物部門研修会は11/30・12/1で決定した。北日本の部門長も暫定的に決定している。岩手県の部門長の変更は遺伝子検査部門・血液検査部門・生理検査部門・病理細胞部門となっている。

3) 日本臨床検査技師連盟

今月参議院議員選挙が行われ、自民党比例区から小川しんじ氏が立候補している。

II 各事業について

1) 総務部（菊池）

今年度も会員の親睦を深められる企画を考えています。皆さんからも案があればお願いします。

2) 学術部（畠山）

今年度の各地区総会、研修会等例年通り行われている。精度管理事業についても、昨年度同様に行っていく予定。岩臨技学会は11/17中部地区担当で行う。

3) 公益部（川村）

9/8に行われるあっぱりレーマラソンでは、参加者を募集し10名の参加者登録を行う。大腸がん予防啓発のための配布物を栄研に依頼している。別会社のがん予防啓発トイレットペーパーも検討中。現在も走者以外のスタッフは募集中。

検査と健康展は 11/3 に決定し、コープー関コルザで検討中。7/15 に南部地区事務局の川嶋さんと盛岡地区の三田さんと 3 人で、休日の会場の様子を下見に行く。ポスター等は今後検討。

(宮本)：あっぴりレーマラソンの大腸がん予防啓発運動について。私は去年から県の大腸がん部会の役員をしているので、県に要望等あればお伝えします。

(川村)：ペンなどの PR グッズがあればありがたい。配って手元に残るようなものが必要。

4) 生涯教育 (宮本)

先日、サイボウズに研修会の申請の流れを載せた。20 事業までは日臨技からの助成がうけられる (1 か月前までの申請、1 か月以内の決算報告が条件)。申請書は HP とサイボウズで見られるようにしていく。

5) 事務局 (下川)

今月の参議院議員選挙に小川しんじ氏が立候補しており、投票の依頼を行った。技師会連盟の加入をお願いしたい。いわてピンクリボンフェスタへの寄付はしない。地域ニューリーダー育成研修会は川村将史氏か畠山裕司氏が対象者ですが、本人の予定が合わない場合は該当者なしで日臨技へ報告する。

発行物については、会報を送るタイミングで 8 月・10 月・12 月・1 月・4 月の月末に発送。各施設に送付する資料があれば、それまでに教えて欲しい。

現在技師会で使用中の PC (2 台) のリース契約が今年の 9 月で終了。Windows7 のサポートが切れることもあり、新規でリースを組むことも考えている。新規リースは約 8000 円/月となり、予算よりも多い出費となる。(再リースは約 7600 円/年)

(行森会長) 来年は学会も控えているため、問題が出ないように新規にしたほうが良いと思う

→全員賛成ということで、新規リースとなった。

6) 各地区より本年度活動について

北部地区：現在のところ、予定なし。決まり次第報告。

盛岡地区：7/20(土)第 2 回研修会で AED の使い方等を消防署にて行う。

中部地区：今年度開催される医学検査学会の準備中

南部地区：7~8 月に第 2 回研修会を予定している。検査と健康展の準備も進めていく。

三陸地区：欠席

7) 各学術部門より本年度活動について

輸血検査部門 (小田原)：今年度は 2~3 回の研修会を実技も含めて検討中。内容は精度管理の評価方法についてのアナウンスを含めたもの等。実技の会場は医大の移転があるため会場は未定。

遺伝子検査部門 (小原)：研修会は年 2 回を目標に準備していく。各分野と連携して (合同研修会等含め) 計画していきたい。

感染制御部門 (成田)：8/24 第 1 回研修会、10 月・12 月に研修会を予定している。

生理検査部門 (舘野)：超音波認定の基礎内容の研修会を 10 月に予定している。他 1 回の開催を予定。県立病院内のテレビ会議システム等を利用したサテライト会場も検討中。遺伝子検査との合同研修会も企画したい。

総合部門 (小野寺)：岩臨技精度管理報告会の後に行う研修会を計画しており、他 1 回の研修会も予定している。DVT 検診については、今年度行うか未定。

一般検査部門 (下川)：1~3 回の研修会を予定。岩臨技のサーベイは、今年度も 4 県合同のフォトサーベイを予定している。

前回のサーベイ報告会終了後に、不適問題に正解・不正解を併記しないで欲しいという問い合わせがあったが、日臨技サーベイの報告様式に合わせて、岩臨技での報告でも行っていく。

意見：(小原) 岩臨技の定款に組織としての遺伝子検査の部門が無いです。

回答：(行森) 日臨技にもできて間もない分野である。今後、定款の改定を予定していくということで、了承して頂きたい。

Ⅲ その他

- ・ 第 24 回岩手県医学検査学会 (高橋)

開催日：令和 1 年 11 月 17 日(日) テーマ「平和から令和へ～新時代の臨床検査～」

会場：日本現代詩歌文学館 (北上市)

10：00～16：30 の予定で、一般演題・技術セミナー・公開講演 (国立天文台水沢の田崎氏)、抽選会を予定している。一般演題は 7/31 の締め切りを予定しているが、まだ募集はない。機器展示は 6 社を予定。一般演題の呼びかけをお願いします。ポスターを作製した。北上広報にも依頼予定。

- ・ 第 9 回北日本支部医学検査学会 (行森)

開催日：令和 2 年 10 月 17・18 日 (土・日) 会場：アイーナ (いわて県民情報交流センター)

実行委員長：畠山秀樹、事務局：菊池英岳、川村将史、会計等は今後決めていく。

例年通り、抄録は作成せずプログラムは作成し発送。まずは 10 月の山形で行われる学会の視察を予定。

- ・ 2020 年日本医学検査学会の演題登録が 9/1 から始まります。
- ・ HP 作成等について (株式会社ぴーぷる 新井田氏)
HP リニューアルとサイボウズ office の活用について。